

崖の下のポロ

城内の打毬場

「城踏」No.70で檜厩と霧之馬場を紹介しました。姫路城ではこのほかに、本城の東に南北棟の長い馬屋がありました。酒井時代には、この馬屋を「下厩」と呼んでいます(図1)。

この馬屋で目に着くのは、本城と下厩の間に広場があって、そこに土塁が築かれていることです。これが「内馬場」で、馬の調教や乗馬が行われていた場所です。図1のように内馬場の土塁は霧之馬場とは異なり、西側にほぼ正方形の張り出しを持って築かれているのが特徴的です。図1の描かれた時代より下りますが、『玄武日記』をみると、安永7(1778)年2月28日条に「向屋敷外馬場二而打毬有之」とあります。向屋敷の外の馬場、すなわち内馬場で藩主酒井忠以が打毬をしていたのです。打毬とは徳川吉宗によって再興された馬術競技で(図2を参照)、ペルシャで発祥したといわれています。それがヨーロッパではポロという球技になっています。『玄武日記』の短い記事から、内馬場の土塁形状が少し変わった平面形状をしていた理由がわかってきました。

さて忠以は、この日打毬の後、この馬場で「むら玉」「はやしの」という2頭の馬に乗り、2月30日にも「山の井」「はやしの」に乗馬しています。3月1日には、車門から乗船して船場川を下り、飾磨津に上陸後、高浜(姫路市飾磨区)でも打毬をしています。『日本馬政史(三)』(帝国競馬協会編、1982年復刻、原書房)によると将軍徳川家斉は、打毬を小さな頃から好んだほどの名手だったとあります。徳川慶喜も打毬を趣味にしていたそうですから、18世紀後期頃から、将軍に追随するかのようにならぬ大名の間でも打毬が流行っていたのでしょうか。

姫路城内で打毬が行われるのであれば、当然、江戸屋敷でも行われていました。安永5年正月12日には「朧月」という名の馬に乗り暮時まで打毬をしています。さらに面白いのは、安永7年10月10日条です。

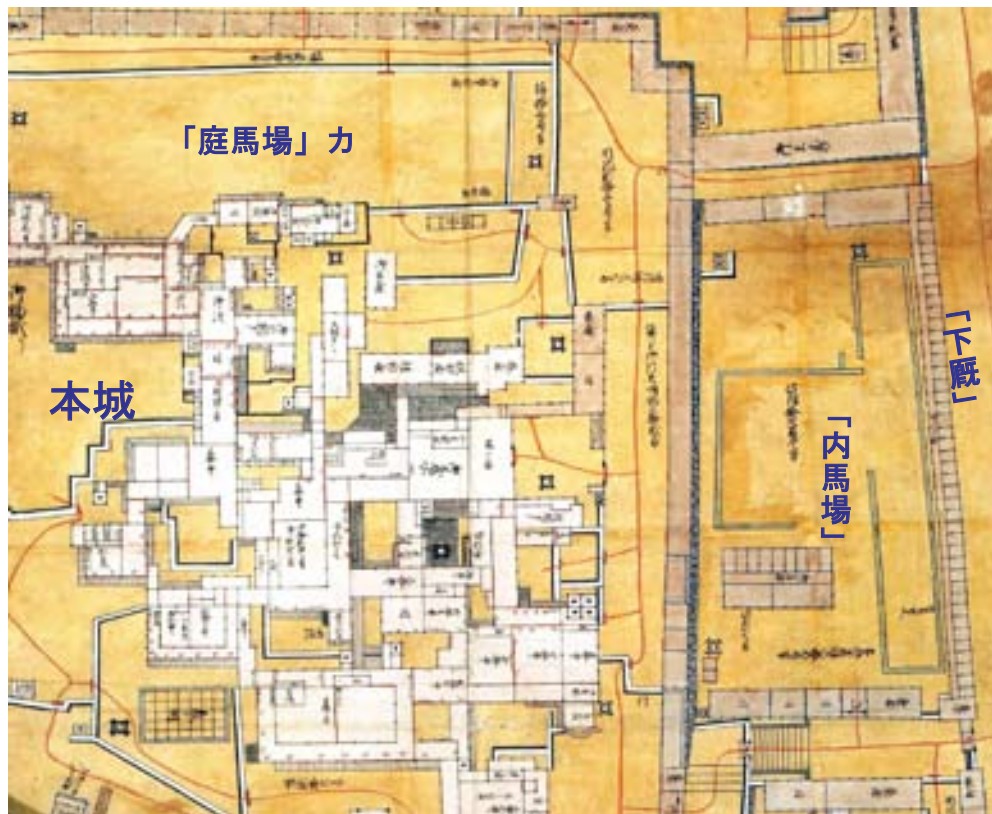


図1 本城部分(「播州姫路城図」より)

一、今夕馬場二而打毬いたし候処、栄八鎧切レ落千候二付吟味候処、イ木へ引不通、ばせんへ斗引通し候故、ばせんニ切鎧落候、仍而打毬すみ、右ノ馬へかり候庄兵衛・伊助兩人さし扣ヲ伺フ、伺之通申付候(略)

馬具の装着不備で鎧が打毬の最中に落下し、その馬の担当であった庄兵衛らが差し控えになったというのです。面白いのは、鎧を落とした馬に乗っていたのが栄八、すなわち酒井抱一だったということです。抱一は画家として有名ですが、兄の忠以に付き合っで屋敷内で打毬をやっていたのです。



図2 打毬の様子(和歌山市立博物館所蔵「赤坂御庭図画帖」部分、仙台市博物館『競う!』2001年より)

『玄武日記』をみる限り

どうも忠以は安永5~7年頃に打毬にはまっていたように感じられます。ただし、安永6年には3月26日以外に打毬の記事は見当りません。彼はこの年の7月に帰国する予定だったものの、痔が悪化したため帰国を引き延ばし、結局姫路に帰ったのが12月までずれ込んでいます。お尻が痛くて打毬どころではなかったのでしょうか。下半身が冷えると痔に悪いので、夏でも足袋着用の許可を老中に申請しているほどです。

忠以は江戸を出立する予定日直前の6月21日、将軍から八歳の鹿子月毛の馬を拝領しています。この馬は、姫路着城直後の12月15日に庭馬場で主な家臣に披露されています。そして18日には、同じ庭馬場で「江戸二而引入之馬」を観閲しています。これは江戸で購入した馬とみられます。ちなみにこの庭馬場は、三の丸本城の御殿にあった馬場で、座敷から貴馬の様子を見ることができました。帰国後の安永7年1月5日には庭馬場で「さらしな(更科)」に初乗りしていますから痔は快方に向っており、2月28日には打毬ができるまでに良くなっていたことは間違いありません。

酒井家の江戸屋敷にいたものも含めて、上記の5頭以外で名前の判明している馬は、「みよし野」「館崎」「鳴滝」「寒月」「浜川」「ミぞれ」「水月」「明月」「鶴亀」「村山」「白滝」「長月」「靨」「鶴巻」を挙げることができます。このうち「鳴滝」「寒月」は南部、「靨」は仙台から購入したことがわかっています。「靨」は忠以のお気に入りだったのか、日光社参の際に乗馬していますし、浅草方面への遠乗でも使われています。打毬をするのに、とくに気に入った馬がほかにいたかもしれません。

現在、姫路城の大手門を入り、天守の方向を見ると左手(西側)に高台があります。その崖下に公衆トイレと民間の土産物店が南北に並んでいます。これといった特徴もない景色で、すでに大天守を視界に捉えた観光客は入城ゲートを目指すことに集中してほとんど気にも留めませんが、実はそこにあった内馬場で、右に紹介した打毬は行われていたのです。

酒井忠以や抱一の打毬の腕前はどうかだったのでしょうか。残念ながらそこまでの記録はまだ出てきません。

